

東京都内のセブン-イレブン初！ お買物支援サービス 移動販売『セブンあんしんお届け便』を 10月25日（木）より東京都練馬区光が丘団地にて開始！！

株式会社セブン-イレブン・ジャパン（東京都千代田区、代表取締役社長 古屋 一樹）は、都市部でも進行している高齢化等の社会環境の変化に対するお買物支援として、東京都内のセブン-イレブンで初めての取組みとなる移動販売『セブンあんしんお届け便』の運用を、2018年10月25日（木）よりセブン-イレブン練馬光が丘西大通り店にて開始いたします。

練馬区とセブン-イレブン・ジャパンは本年5月に「高齢者見守りネットワーク事業協定」を締結し、区内の各加盟店と共に地域における高齢者の見守り活動を推進しております。

本取組みは、高齢者支援の更なる拡充を図るため、練馬区、株式会社URコミュニティ様、地元自治会様のご協力を得て行っております。



関係者一堂が揃い出走式・テープカットを実施



出走式当日、団地のお客様が多数ご来店

実施店の声 練馬光が丘西大通り店オーナー 村田様

「自分が生まれ育った光が丘団地に、少しでも恩返ししたいという気持ちです。光が丘団地の皆さまに貢献できるようにしっかりと取組んでまいります」

練馬区副区長 山内様

「光が丘地区の高齢化率は約30%と東京都の平均よりも高い。高齢者サービスの充実につながる取組みとして期待しております。」

(株) URコミュニティ東京北住まいセンター長 星野様

「UR賃貸住宅における安全・安心・快適な住生活環境の提供という当社の企業理念に合致しており、協力しあって、本事業の推進をサポートします。」

本事業に取り組むことでSDG s の達成に
貢献してまいります

3

すべての人に
健康と福祉を



8

働きがいも
経済成長も



11

住み続けられる
まちづくりを



17

パートナーシップで
目標を達成しよう



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

2030年に向けて
世界が合意した
「持続可能な開発目標」です